

障がい者雇用促進調査特別委員会

障がい者の雇用促進などについて、調査します。

【県内調査の状況】

【実施日】8月19日

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ 7ch+dボタン)

「障がい者就業・生活支援センター」は、障がい者の雇用促進や継続就労に大きな役割を担っていることから、伊賀圏域障がい者就業・生活支援センターを運営している社会福祉法人名張育成会において、センターや役割分担や連携、現場における工夫や現在の課題について調査しました。

(株)ミルボンゆめが丘工場での調査

次に、社会福祉法人と企業の連携の調査として、就労継続支援(B型)や就労移行支援に取り組む「ふつくりあハウൺ」における取り組みや訓練の状況についての調査を行い、続いて、生活支援を目的として運営しているグループホームを調査しました。その後、施設外就労活動や直接雇用で連携、協力しているミルボンゆめが丘工場において、障がい者雇用の取り組みの状況や社会福祉法人との連携について調査しました。

「障がい者就業・生活支援センター」は、障がい者の雇用促進や継続就労に大きな役割を担っていることから、伊賀圏域障がい者就業・生活支援センターを運営している社会福祉法人名張育成会において、センターや役割分担や連携、現場における工夫や現在の課題について調査しました。

次に、社会福祉法人と企業の連携の調査として、就労継続支援(B型)や就労移行支援に取り組む「ふつくりあハウൺ」における取り組みや訓練の状況についての調査を行い、続いて、生活支援を目的として運営しているミルボンゆめが丘工場において、障がい者雇用の取り組みの状況や社会福祉法人との連携について調査しました。

「平成26年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関する申し入れ

7月28日、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会から知事に対し、「平成26年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関して、次のとおり申し入れを行いました。

①少子化対策について



多様なニーズに対し、切れ目のない支援を行うとともに、市町や民間企業等との協働により、オール三重で一丸となつた少子化対策に取り組まれること。

単年度で終わら

ず、長期的な目標・本県のあるべき姿をしっかりと持つて、少子化対策に取り組まれること。

②財政運営について

極めて厳しい財政状況の中、みえ県民力ビジョンを着実に推進し、確実な成果を上げるため、必要な財源確保に努めるとともに、中長期的には県債残高の抑制に努め、持続可能で健全な県財政を確立し、県民が幸福感を実感できる県政が展開されること。

平成26年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。
10月から12月までの日程は次のとおりです。

| | | | |
|-----|----------------|-----------------|------|
| 10月 | 1日 | 予算決算常任委員会 | □ |
| | 2日 | 全員協議会 | □ |
| | 3日、6日、7日、8日 | 各常任委員会及び分科会 | □ |
| | 14日 | 本会議(代表質問) | TV □ |
| | 15日 | 代表者会議、議会運営委員会 | □ |
| | 17日 | 本会議(採決、議案上程) | □ |
| | | 予算決算常任委員会 | □ |
| | 23日、24日 | 予算決算常任委員会 | □ |
| | 28日 | 予算決算常任委員会(総括質疑) | TV □ |
| | 31日 | 予算決算常任委員会各分科会 | □ |
| 11月 | 4日 | 予算決算常任委員会各分科会 | □ |
| | 6日 | 予算決算常任委員会 | □ |
| | 7日 | 代表者会議 | □ |
| | 14日 | 議会運営委員会 | □ |
| | 21日 | 本会議(採決、議案上程) | □ |
| | 27日 | 本会議(議案質疑) | □ |
| | 28日 | 本会議(一般質問) | TV □ |
| 12月 | 2日、4日 | 本会議(一般質問) | TV □ |
| | 5日 | 予算決算常任委員会 | □ |
| | 9日、10日、11日、12日 | 各常任委員会及び分科会 | □ |
| | 17日 | 予算決算常任委員会 | □ |
| | 18日 | 代表者会議、議会運営委員会 | □ |
| | 19日 | 本会議(採決、閉会) | □ |

この日程は、平成26年9月4日現在の予定です。最新の情報は、ホームページまたはテレビのデータ放送でご確認ください。

TV テレビ中継 □ インターネット中継

紀伊半島二県議会交流会議

を深めていくことを確認しました。また、国に対して、紀伊半島におけるアンカールートの整備促進、紀伊半島への外国人旅行者の誘客に資するリニア中央新幹線の東京～大阪間全線同時着工を整備計画に基づき実現することについて要望していくことを合意しました。

会議では、紀伊半島全域への外国人観光客の誘客につなげるため、引き続き三県議会と三県当局が車の両輪となって、広域観光の推進に向けた協力・連携を行いました。

また、国に対して、紀伊半島におけるアンカールートの整備促進、紀伊半島への外国人旅行者の誘客に資するリニア中央新幹線の東京～大阪間全線同時着工を整備計画に基づき実現することについて要望していくことを合意しました。

